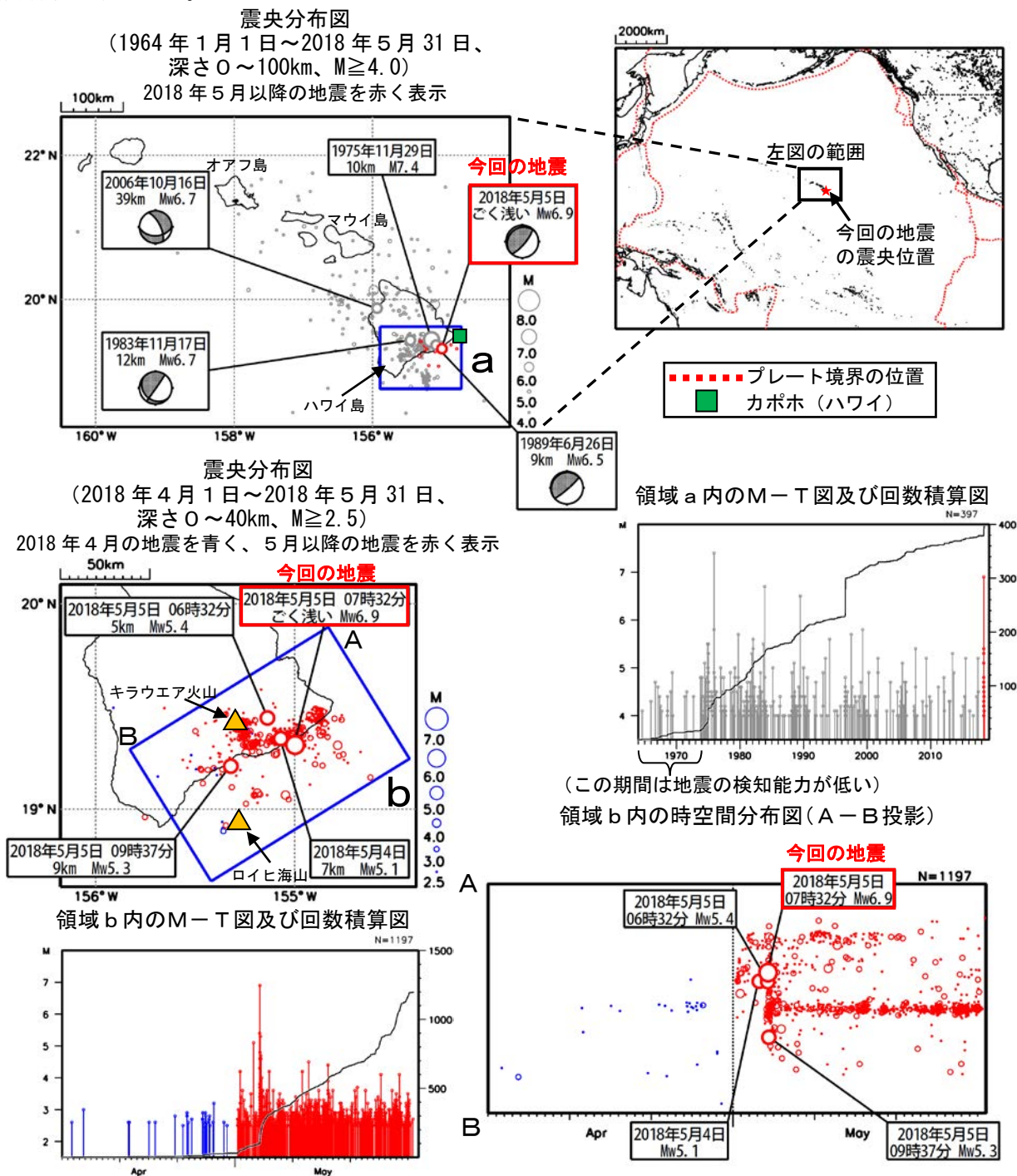


5月5日 ハワイ諸島の地震

2018年5月5日07時32分(日本時間、以下同じ)にハワイ諸島のごく浅い場所でMw6.9の地震が発生した。この地震は発震機構(気象庁によるCMT解)が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、キラウエア火山の火山活動に伴って発生した。同年4月頃からキラウエア火山を中心に地震活動がみられており、5月1日から31日までにM4.0以上の地震が19回発生している。この噴火活動により被害が生じている(報道による)が、地震活動による被害は報告されていない。

気象庁は、この地震に対して、同日08時35分に遠地地震に関する情報(日本への津波の影響なし)を発表した。この地震によりハワイのカポホで40cmの津波を観測した。

1964年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域a)は、火山活動に伴って地震活動がみられる領域で、1975年11月29日に発生したM7.4の地震により津波が発生し、死者2人、負傷者28人の被害が生じた。この地震により日本でも津波を観測しており、牡鹿町鮎川(現在の宮城県石巻市)で25cmの津波を観測した。また、1996年には、ハワイ島の南に位置するロイヒ海山の噴火活動により群発的な地震活動もみられた。



※本資料中、今回の地震の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構はGlobal CMT、Mw及び震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2018年5月31日現在)。今回の地震の津波の高さは、米国海洋大気庁(NOAA)による(2018年5月31日現在)。1975年11月29日の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」、日本での津波の高さは験震時報第41巻による。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)*より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.